

平成25年度文化庁委託事業

「国語に関する世論調査」を基にした動画作成業務

「ことば食堂へようこそ！」

さお
流れに棹さす

映像台本

4分8秒

※ この台本は、撮影時に使用したものですが、アドリブ等が加わっているため、実際の動画の台詞とは一部異なっているところがあります。また、台本という性格上、公用文式の表記と一致しない部分があります。

流れに棹さす

作家の仕事部屋 作家：森下 じんせい 編集者：布施川 一寛

映 像	カット	音 声
プロローグ		
<p>1 スタジオ・ことば食堂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解説者：シェフあかり 話し始める ・本日のメニューを書く 顔・手元 ・書き終わって、コメント ・タイトル（ボードの手書き文字） ・本日のメニュー <p style="text-align: center;">『流れに棹さす』</p>	<p>♪コミカルな音楽</p> <p>解説者</p> <p>「ことば食堂へようこそ！</p> <p>当店では、言葉の本来の意味を御提供しております。</p> <p>皆さん、知っているようで、知らないって言葉って、結構あるんじゃないですか？</p> <p>本日のメニューはこちら！</p> <p>『流れに^{さお}棹さす』。』</p>	
スキット		
<p>2 スタジオ・作家の仕事部屋</p> <p><作家の仕事部屋：作家と編集者の会話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・机に向かっている作家，立っている編集者 <p style="text-align: center;">二人とも，何やら落ち着きがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集者のスマホが鳴る 	<p>編集者：佐藤「（慌ててスマホに出る）はい，佐藤です。</p> <p>どうでしたか？</p> <p>はい，はい…。</p> <p>そうですか…（落胆）分かりました。」</p> <p>作家「佐藤君，芥川賞，駄目だったのか？」</p> <p>編集者：佐藤「今年を受賞は，ライバルのあの先生でした…。残念ですが，受賞ならずです…。」</p> <p>作家「そうか…。</p> <p>いや，受賞できない理由は，分かっているんだ。」</p> <p>編集者：佐藤「えっ？」</p>	

	<p>作家「俺みたいに流れに棹さしている奴は、受け入れられんのだろう。誰かさんみたいに流行に乗れば賞は取れる。</p> <p>しかし、俺には、そういうまねができないんだ。」</p> <p>編集者：佐藤「えっ？先生は、流れに棹さしているんですよね？」</p> <p>作家「そうだよ、流れに棹さす気持ちで、流行に迎合しないのが私の小説だ！」</p> <p>編集者：佐藤「(肩を落とし) 賞を取れない理由は、ほかにあると思います…。」</p>
<p>解説</p>	
<p>3 スタジオ・解説者 画面左</p> <ul style="list-style-type: none"> 画面左で解説者：シェフあかりが話す 解説者の横にメニューが出る <p>傾向に逆らって、ある事柄の勢いを失わせる行為をすることと</p> <p>傾向に乗って、ある事柄の勢いを増す行為をすることと書いてある</p> <ul style="list-style-type: none"> 傾向に乗って、ある事柄の勢いを増す行為をすることを強調 <p>4 写真付きイラスト</p> <ul style="list-style-type: none"> 作家の『傾向に逆らって、ある事柄の勢いを失わせる行為をすること』に <p>平 18: 6 2. 2% → 平 24: 5 9. 4%</p> <ul style="list-style-type: none"> 編集者の『傾向に乗ってある事柄の勢いを増す行為をすること』に <p>平 18: 1 7. 5% → 平 24: 2 3. 4%</p>	<p>解説者「『流れに棹さす』とは本来、『傾向に逆らって、ある事柄の勢いを失わせる行為をすること』という意味でしょうか？</p> <p>それとも『傾向に乗って、ある事柄の勢いを増す行為をすること』という意味でしょうか？」</p> <p>解説者「『流れに棹さす』とは、本来は、『傾向に乗って、ある事柄の勢いを増す行為をすること』という意味です。」</p> <p>解説者「平成 18 年度と 24 年度の『国語に関する世論調査』で、『流れに棹さす』の意味を聞いたところ、少し減りはしましたが、半数以上の方が『傾向に逆らって、ある事柄の勢いを失わせる行為をすること』と答えました。」</p>

5 解説者の右横に CG 文字

『流れに棹さす』の文字の下に
『水をさす』が現れる
「さす」が共通することを明示する

解説者の横にボード文字

『流れに棹さす』
『傾向に乗って、ある事柄の勢いを
増す行為をすること』

6 スタジオ

- ・ 解説者の右奥から
作家と肩を落とした編集者：佐藤が
歩いてくる。
- ・ 解説者・正面を向き、あきれた笑顔

解説者「こうした原因には、船を走らせるための『流れに棹さす』という行為が、現在では日常生活と縁が薄くなり、比喻としての機能を果たせなくなっていることや邪魔をするという意味として使われる「水をさす」などと混同していることもあるようです。」

解説者「『流れに棹さす』。その本来の意味は、『傾向に乗って、ある事柄の勢いを増す行為をすること』です。」

作家

「佐藤君、気を落とすな。

流行に逆らって、流れに棹さすことは、大事なことだ。」

解説者「…（あきれた笑顔でいる）。」

END